

「EcoLogiPortal®」が SAP※1 のサステナビリティ管理ソリューションと連携 ～基幹システムによる一元管理で企業の脱炭素経営をより強力に支援～

ロジスティード株式会社は、サプライチェーン最適化サービス「SCDOS (Supply Chain Design & Optimization Services)」の一環として提供する CO2 排出量可視化ソリューション「EcoLogiPortal®」が、SAP のサステナビリティ管理ソリューションとの連携を開始しましたのでお知らせいたします。これにより、企業はスコープ 1, 2, 3※2 を含む CO2 排出量データを、基幹システム上で一元的に可視化・管理できるようになります。



※1 SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。
※2 スコープ 1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 スコープ 2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出 スコープ 3: 事業者の活動に関連する他社の排出

1. 連携の背景

日本政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル宣言」を受け、企業には一層の環境配慮型経営を求められるようになりました。ロジスティードは、SCDOS に CO2 排出量の削減効果を継続的に可視化する機能を付加した EcoLogiPortal を提供し、お客様の輸送領域における CO2 排出量の全体像の把握や、削減に向けた具体的なアクション実行をサポートしています。

2. 連携の内容

SAP は世界 190 カ国以上で導入されている統合基幹業務システムのグローバルリーダーであり、企業の持続可能な成長を支援する革新的なソリューションを提供しています。

このたび、「EcoLogiPortal」が SAP の公式マーケットプレイス「SAP ストア」のラインナップに追加され、「SAP® Sustainability Control Tower」および「SAP® Sustainability Footprint Management」とのシームレスな連携が実現しました。これにより、EcoLogiPortal で収集・集計したスコープ 3 のデータを含む全スコープの排出量を、SAP のダッシュボード上で統合的に管理・分析し、迅速な意思決定につなげることが可能になります。

SAP ジャパン株式会社 チーフサステナビリティオフィサー 吉元宣裕様のコメント

サステナビリティ経営の推進において、実データに基づいた定量的な可視化は重要なステップとなっています。しかしながら、多くの企業にとって、物流領域を含むスコープ 3 の CO2 排出量を把握することは依然として大きな課題です。

今回、ロジスティードのソリューションが SAP Store に掲載されたことで、物流起点の CO2 排出量を可視化し、企業がこの課題に取り組むための有効な手段が新たに提供されたことを大変嬉しく思います。

さらに、このソリューションが SAP の持つ生産・調達などの情報と統合されることで、現場から経営層までをつなぐデータドリブンな意思決定を支援する強力な基盤が実現します。

両社の技術の融合により、“サステナビリティを経営の中核に据える”取り組みが、より多くの企業へと広がることを期待しています。

News Release

3. EcoLogiPortal について

ロジスティードの IT 基盤にお客様のシステムを連携させることで、輸送に関わる CO2 排出量データを自動収集・集計し、地域別・輸送モード別・商品カテゴリ別など多様な切り口で可視化します。

「EcoLogiPortal」は第三者機関による適合性評価を受けており、CO2 排出量の算定精度と信頼性が確認されています。

(ご参考)

SCDOS の CO2 排出量可視化ソリューションが第三者機関による適合性評価結果を受領

(2022 年 8 月 2 日リリース) <https://www.logisteed.com/jp/news/20220802.html>

ロジスティードグループは、DX・LT(Logistics Technology)・現場力で、「新たな付加価値による事業領域の拡張」「スマートロジスティクスへの進化」「ESG 経営基盤の強化」を推進し、グローバルなサプライチェーン戦略パートナーをめざします。

以 上

【お問い合わせ先】

ロジスティード(株) 広報部

TEL: 03-6263-2803